

## 防災気象情報の主な入手方法

- 気象庁ホームページ**  
<http://www.jma.go.jp/>  
 警報・注意報、台風情報、解析雨量など、気象庁が発表している防災気象情報は、気象庁ホームページで御覧になれます。
- 国土交通省防災情報提供センターの携帯電話用サイト**  
 警報・注意報、気象情報、河川情報、降水ナウキャスト等を掲載しています。  
 携帯電話（フィーチャーフォン）での閲覧に適しています。  
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>
- 気象会社の情報提供サービス**  
 気象会社の中には、防災情報のウェブサイトを開設したり、電子メールによる防災気象情報の配信サービス等を行っているところがあります。  
 サービス一覧：<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/info/keitai.html>
- 都道府県や市町村の情報提供サービス**  
 自治体の中には、住民向けの防災ウェブサイトを開設したり、電子メールによる防災気象情報の配信サービス等を行っているところがあります。  
 サービス一覧：<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/info/jichitai.html>
- テレビ・ラジオ**  
 ニュースや天気予報番組で気象の見通しや警報・注意報の発表状況を放送しています（テレビのデータ放送では常時放送）。



## 事前の備え

- ◎**身の周りにある危険を確認しましょう。**  
 自治体のハザードマップなどで、土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域、浸水想定区域等を確認し、自宅や職場・学校等の良く立ち入る場所、通勤・通学の経路にどのような災害の危険があるかを事前に確認しましょう。
- ◎**避難場所の確認など**
  - ・普段から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておきましょう。
  - ・学校や公民館など、避難場所として指定されている場所への避難経路を確認しておきましょう。
  - ・懐中電灯、携帯用ラジオ、食料、医薬品等の非常持ち出し用品を備えましょう。避難するときは、持ち物を最小限にして両手が使えるようにしておきましょう。



どのような避難行動をとれば良いか、立退き避難をする場合にどこに行けば良いか、避難に際してどのような情報に着目すれば良いかは、お住まいの地域や想定される災害毎に異なります。

自治体から避難勧告等が発令された時に、適切な避難行動をとるため、あらかじめ想定される災害毎に記載した「災害・避難カード」を作成し、災害に備えましょう。

災害・避難カード（例）		
【〇〇市〇〇町〇丁目〇番地〇号：避難が必要となる災害と避難方法等】		
災害	避難行動	注視する情報
A川	自宅2階	A川氾濫危険情報
B川	〇〇避難場所	B川氾濫危険情報
土砂災害	△△避難場所	土砂災害警戒情報

# 集中豪雨への備え

～集中豪雨による災害から身を守るために～

## 集中豪雨は毎年各地で発生しています！

平成21年7月中国・九州北部豪雨  
同じ場所に激しい雨が降り続いた様子

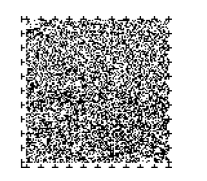
平成27年9月関東・東北豪雨による茨城県常総市の浸水被害  
写真提供:国土交通省関東地方整備局

平成10年以降、集中豪雨により被害が発生した主な地域

平成26年8月豪雨による広島県広島市の土砂災害

### 「集中豪雨」とは・・・

前線や低気圧などの影響や雨を降らせやすい地形の効果によって、積乱雲が同じ場所で次々と発生・発達を繰り返すことにより、激しい雨が数時間にわたって降り続き、狭い地域に数百ミリの総雨量となります。  
 毎年、こうした大雨によって河川の氾濫や土砂災害が発生しています。



音声コード



## 気象庁

〒100-8122 東京都千代田区大手町1丁目3番4号  
 電話：(03)3212-8341 (代表)  
 FAX：(03)6689-2917 (耳の不自由な方向け)  
 ホームページ：<http://www.jma.go.jp/>  
 このリーフレットは、上記ホームページからダウンロードできます。  
 このリーフレットは、印刷用の紙へリサイクルできます。



# 防災気象情報を活用して災害から身を守りましょう！



身のまわりにある災害の危険を事前に確認し、防災気象情報を活用して、早め早めに、避難など安全を図るために行動することが重要です！

大雨になる約1日前  
**大雨に関する気象情報**

大雨の半日～数時間前  
**大雨注意報**

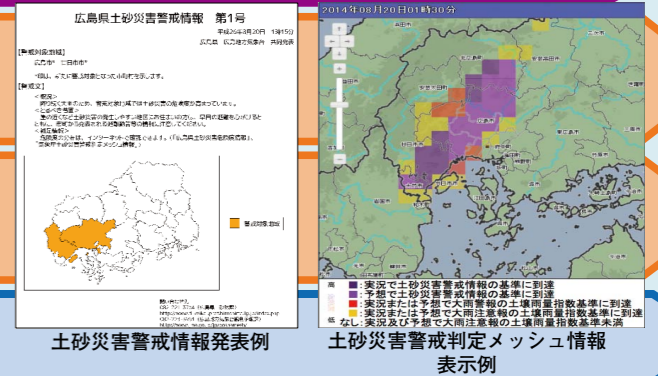
大雨の数時間～2時間前  
**大雨警報(土砂災害)**

広い範囲で数十年に一度の大雨となったとき  
**大雨特別警報(土砂災害)**

土砂災害の危険度がさらに高まったとき  
**土砂災害警戒情報**

5km四方の領域ごとに土砂災害発生危険度の高まりを5段階に判定した結果を表示します。土砂災害警戒情報や大雨警報(土砂災害)が発表されたときには、土砂災害警戒判定メッシュ情報によって詳細な危険度分布を把握しましょう。

数年に一度程度しか発生しないような  
短時間の大雨が観測されたとき  
**記録的短時間大雨情報**



## 土砂災害から身を守る

土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域等では、土砂災害から命を守るための避難行動が必要です。大雨注意報、大雨警報(土砂災害)及び土砂災害警戒情報等の防災気象情報、自治体からの避難勧告等に留意して、早めの避難行動を心がけましょう。

## 土砂災害警戒判定メッシュ情報

### ●大雨に関する気象情報が発表されたら

気象情報やハザードマップを再度確認!  
・土砂災害警戒区域等の危険な箇所を把握  
・避難場所や避難ルートを確認

### ●大雨注意報が発表されたら

最新の情報を把握して、災害に備えた早めの準備を!  
・注意報に、夜間に大雨警報発表の可能性があると記載されている場合は、土砂災害警戒区域等にお住まいで避難行動に支援を必要とする方は、早めの避難

### ●大雨警報(土砂災害)や土砂災害警戒情報が発表されたら

土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、地元市町村からの避難情報に留意するとともに「土砂災害警戒判定メッシュ情報」を確認し、速やかに避難!  
・大雨警報や土砂災害警戒情報の基準に到達したメッシュでは、土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所に避難  
・台風の接近で暴風警報又は暴風特別警報が発表された場合、暴風で屋外を移動できなくなる前に早めの避難  
・避難しようとしたときに大雨や暴風で屋外に出ると生命に危険が及ぶ場合は、2階以上の、崖や沢からなるべく離れた部屋で待避

### ●大雨特別警報(土砂災害)が発表されたら

すでに災害が発生している可能性あり!  
直ちに地元市町村の避難情報に従うなど適切な行動を!  
・これまでに経験したことのないような大雨となり、重大な危険が差し迫った異常事態

雨が降り始める

雨が強さを増す

大雨となる

大雨が一層激しくなる



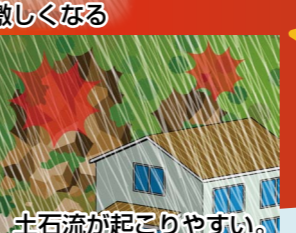
注意が必要



側溝や下水などがあふれ、小規模の崖崩れが始まる。



崖崩れが起きやすくなる。水管から雨水があふれる。



土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。

これまでに経験したことのないような大雨となっている。すでに災害が発生している可能性があり、重大な危険が差し迫った異常事態。



## 河川の増水・氾濫から身を守る

洪水ハザードマップの浸水想定区域では、想定される浸水の深さ及びお住まいの建物の階数に応じて、避難行動が異なります。

【立ち退き避難が必要な区域】  
・氾濫水により倒壊のおそれのある家屋  
・浸水深が概ね0.5mを超える区域の平屋家屋  
・浸水深が概ね3mを超える区域の2階建て家屋  
・長期間深い浸水が続くことが想定される区域  
・氾濫域内の地下、半地下の空間や建物

大雨警報(浸水害)や洪水警報、防災上重要な河川に発表される指定河川洪水予報、自治体からの避難勧告等に留意して、早めの避難行動を心がけましょう。

【防災上重要な河川に発表する指定河川洪水予報】

氾濫注意水位に到達  
**氾濫注意情報**

避難判断水位に到達、あるいは、氾濫危険水位に到達すると予想  
**氾濫警戒情報**

氾濫危険水位に到達  
**氾濫危険情報**

氾濫発生  
**氾濫発生情報**

**洪水注意報**

**洪水警報**

### ●大雨に関する気象情報が発表されたら

気象情報やハザードマップを再度確認!  
・浸水想定区域を把握  
・避難場所や避難ルートを確認

### ●洪水注意報・氾濫注意情報が発表されたら

最新の情報を把握しましょう!

### ●洪水警報や氾濫警戒情報が発表されたら

地元市町村からの避難情報に留意するとともに、最新の情報を把握して、災害に備えた早めの準備を!  
・立ち退き避難が必要な区域等で、避難行動に支援を必要とする方は、早めの避難を開始

### ●氾濫危険情報が発表されたら

いつ氾濫してもおかしくない状態!  
地元市町村からの避難情報に留意して速やかに避難を!  
・立ち退き避難が必要な区域等では避難を開始

### ●氾濫発生情報が発表されたら

すでに、氾濫が発生しています!  
直ちに地元市町村の避難情報に従うなど適切な行動を!